

## 研修目的

循環器疾患を有する患者の病態を把握し、指導医の指導の下で診断から治療までのプロセスに深く参画することにより、急性期疾患も担う医師としての臨床力を養う。

## 習得できるアウトカム（能力）

### 1) 必ず習得できるアウトカム（能力）

※習得することで診療科の研修を修了できます。習得できていないと評価を受けた場合は、研修期間が延長となります。

#### A. 医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）

・患者・家族・医療他職種と水平で良好な関係を構築できる。

#### B. 資質・能力

・急性冠症候群や心不全、不整脈などの循環器救急疾患に対する初期対応（病歴聴取から治療方針の決定まで）ができ、治療の効果・副作用の評価ができる。

#### C. 基本的診療業務

・入院患者の日々の容態の変化を観察し、身体所見・検査所見から病態を考察し、治療方針を決定できる。

### 2) 研修医の意向により習得できるアウトカム（能力）

#### A. 医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）

・外科的適応を理解し、外科チームとの連携の重要性を認識すると共にその実際に関わる。

#### B. 資質・能力

・冠インターベンション（PCI）やカテーテルアブレーション、経皮的動脈弁留置術（TAVI）、ペースメーカー/植え込み型除細動器など様々なカテーテルを用いた治療の適応と治療内容を理解する。

#### C. 基本的診療業務

・心電図や心エコー検査を自ら実施・解釈し、循環器内科特有の検査（心臓カテーテル検査、電気生理学的検査、心臓核医学、MRI、冠動脈 CT）を解釈し病態把握に資することができる。

## 具体的な指導方法・フィードバック方法（研修方略）

- ・医療面接法、診察手技は、指導医の観察指導のもと日々の臨床研修で実習する。
- ・検査ならびに疾患・治療方針・手術法の原理は、指導医の観察指導のもと日々の臨床研修で実習する。
- ・侵襲的処置（点滴・動脈圧ライン確保・静脈ルート確保等）は、指導医の指導のもと日々の臨床研修で実習する。
- ・BLS、ACLS 研修に積極的に参加する（BLS は必須とする）。
- ・緊急入院患者の治療には特に積極的に参加する。
- ・ローテーション終了時に研修内容を振り返り、次のローテーション先で何を学ぶべきかなど話し合う時間を設ける。

# 週間予定表

|   | 午前                                                      | 午後                                      | 夕方                           |
|---|---------------------------------------------------------|-----------------------------------------|------------------------------|
| 月 | 抄読会<br>回診 病棟診療<br>心筋シンチ<br>カテーテルアブレーション                 | 回診 病棟診療<br>カテーテルアブレーション                 | シネカンファランス<br>症例カンファランス<br>回診 |
| 火 | 心臓外科との合同<br>カンファランス<br>回診、病棟診療<br>心臓カテーテル検査<br>トレッドミル検査 | 心臓カテーテル検査<br>TAVI（第3週）                  | 多職種カンファランス<br>回診             |
| 水 | 回診 病棟診療<br>カテーテルアブレーション                                 | 冠インターベンション<br>PMI/ICD/SICD/CRT          | 回診                           |
| 木 | 回診 病棟診療<br>カテーテルアブレーション                                 | 心臓カテーテル検査<br>冠インターベンション<br>カテーテルアブレーション | 回診                           |
| 金 | 回診 病棟診療<br>カテーテルアブレーション                                 | カテーテルアブレーション<br>経食道エコー                  | 回診                           |

## 指導責任者および指導医

### 指導責任者：

熊谷浩司（くまがいこうじ）平成8年卒：資格：日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・内科指導医・評議員・東北支部評議員、臨床研修指導医、日本循環器学会認定循環器専門医・指導医・上級会員（FJCS）・東北支部役員・評議員・学会社員、厚生労働省「指導医講習会」臨床研修指導医、日本不整脈心電学会認定不整脈専門医・評議員、臨床電気生理研究会特別幹事

### 指導医：

- 1) 小丸達也（こまるたつや）昭和57年卒：資格：日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・臨床研修指導医、日本循環器学会認定循環器専門医、厚生労働省「指導医講習会」臨床研修指導医、日本医師会認定産業医、日本循環器学会東北地方会評議員、日本医師会認定産業医
- 2) 山家実（やんべみのる）平成10年卒 資格：日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・臨床研修指導医、日本循環器学会認定循環器専門医、厚生労働省「指導医講習会」臨床研修指導医、日本高血圧学会高血圧専門医・高血圧指導医、日本医師会認定産業医
- 3) 亀山剛義（かめやまたけよし）平成15年卒 資格：日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・臨床研修指導医、日本循環器学会認定循環器専門医、厚生労働省「指導医講習会」臨床研修指導医 日本心血管インターベンション学会専門医
- 4) 関口祐子（せきぐちゆうこ）平成15年卒 資格：日本内科学会認定内科医・総合内科専門医、日本循環器学会認定循環器専門医、日本心臓リハビリテーション学会認定心臓リハビリテーション指導士

- 5) 菊田 寿（きくたひさし）平成 16 年卒 資格：日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・臨床研修指導医、日本循環器学会認定循環器専門医、厚生労働省「指導医講習会」臨床研修指導医、日本心血管インターベンション学会認定医
- 6) 長谷部雄飛（はせべゆうひ）平成 17 年卒資格：日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・臨床研修指導医、厚生労働省「指導医講習会」臨床研修指導医、日本循環器学会認定循環器専門医、日本不整脈心電学会認定不整脈専門医
- 7) 長谷川薫（はせがわかおる）平成 21 年卒 資格：日本内科学会認定内科医・総合内科専門医、日本循環器学会認定循環器専門医、厚生労働省「指導医講習会」臨床研修指導医 日本超音波医学会 超音波専門医
- 8) 黒瀬裕樹（くろせひろき）平成 27 年卒 資格：日本内科学会認定内科医，厚生労働省「指導医講習会」臨床研修指導医、日本心血管インターベンション学会認定医
- 9) 松田航星（まつだこうせい）令和元年卒 医学部附附属病院助教：日本内科学会認定内科医

#### 学会発表・論文作成に対する指導体制

指導医が発表のための文献検索、スライド作製、プレゼンテーションなどの指導を行う。